



新 年 ご 挨拶

会長 三宅良太

新年明けましておめでとうございます。会員並びにご家族の皆様には清々しい初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

今年は西暦2008年、平成の御代は20年代に入りました。近年地球温暖化の影響か異常気象、災害の多発、ひいては食糧不足も危惧されており国際情勢も紛争が絶えず、国内においても、年金問題や食品の安全、そして経済地域格差等々問題山積しておりますが、新しい年が平穏な一年でありますよう、明るく嬉しいニュースが続出しますよう念ずる次第です。

さて、昨秋10月21日は母校で創立125周年記念式典が厳粛且つ盛会裡に開催され、世界に向かって飛躍的な第2の建学と位置づけ、これからの125年に向けてあらたな一歩がスタートしました。

一方我が東村山稲門会は昨年11月17日定時総会が100名近いご出席を頂き幹事皆様のご協力により無事賑やかに催すことが出来、今後設立20年に向かって一步を踏み出しました。現在11の同好会もそれぞれ楽しく活発に活動されており、一部の会では、近隣稲門会との交流の動きも出ております。毎月のニュース、また年会報も多くの方々のご努力、ご奉仕により滞りなく発行されており、ポストマン（ウーマン）の方々によって、皆様のお手許に届けられております。今後会員皆様に積極的な投稿等をお願いし、会員全員で楽しいニュースを作っていきたいと思っております。

申すまでもなく当稲門会はそれぞれの分野で逸材の宝庫でございます。会の運営、隔月の東村山雑学講座、毎月のお誕生会等皆様のご参加、ご意見をお聞かせ頂き、より充実出来ればと思量しております。

会員皆様方の益々のご健勝を祈念し、併せて絶大なるご支援ご協力を切にお願い申し上げます。

会からのお知らせ

○ 2月度定例役員会

日 時 : 2月9日(土) 13:30～16:00
場 所 : ふるさと歴史館・研修室
都合のつく会員の皆さんは自由にご参加ください。

○ 第56回雑学講座

日 時 : 3月8日(土) 15:00～16:30
場 所 : 未定
講 師 : 安永 嘉治氏(昭和45年早大商卒)
演 題 : 「定年後のイキイキ人生のために」
安永氏は伊勢丹を定年退職し、現在カルチャーセンターで文化歴史講座、音楽・カラオケ講師をされ、正に定年後のイキイキ人生を実践されています。

○ 2月度お誕生会（担当 南湖 芦田）

日時：2月9日（土）17時10分～19時00分（予定）

場所：割烹『丸藤』久米川駅南口徒歩1分

会費：3,000円

＊2月度お誕生の方々（敬称略）17名

岡田一郎・尾島敏雄・崎山裕子・木村草彦・佐藤清彦・塩見之一・高橋正夫・田島隆夫
 内藤 慎・長井 治・長尾勝美・原田道昭・樋地正秀・福田 晃・細山和男・宮 輝雄
 八木正晴

校友会東京三多摩支部大会の報告

平成19年12月9日（日）15時より早稲田大学「大隈ガーデンハウス」で上記の会が行われ、三多摩各稲門会から約170名の会員が集まった。当会からも三宅会長以下風間、當摩、當間各副会長、小亀事務局長、小野、芦田両幹事の7名が参加した。

白井総長から早稲田は教育・研究に大きな改革を行い、教員も学生も意欲的にそれぞれのテーマに取り組んでおり、モチベーションの高さは日本の大学の中でも最右翼に位置している。またスポーツでも好成績を修めているが、単に勝てばよいという事ではなく、文武両道を目指して、勉強もきちんとするという指導を行っているとの力強いお話があった。

また、本多校友会常任理事から校友会奨学金の充実、寮の建設によって地方の学生を増やしたいと考えているので、校友会にたいして一層のご協力をお願いしたいとの挨拶があり、口元募金局長から125周年募金は約170億円集まったが、来年3月まで行うので、まだ8万円の寄付をしていない方は是非寄付頂き、重要文化財となった大隈講堂にご自分の名を刻んで頂きたいとの話があった。

○ 退 会

藤田哲夫氏（昭和40・法）美住町1-2-17（会員数は209人となる。）

○ その後（11月18日～12月27日）に稲門会の会費を納入いただきました会員は以下の方々です。（敬称略）

伊川浩生、石井久長、石塚征雄、井原徹、今関繁雄、岩城哲夫、上原正行、大曾根文男
 大村進、大森平八郎、川合宏幸、川合幸雄、菊田 哲、北野二郎、木村草彦、工藤崇士
 久保栄二、小林傳、斉藤充美、佐藤清彦、澤村信義、塩見之一、重久和彦、柴田元
 下村敏行、関一誠、高橋壽佳、高橋一彦、高橋鶴次郎、高橋英雄、高柳剛、滝川桜子
 滝川正義、滝来京子、滝来洋二、滝澤利久、多田実、辰巳慎次、田邊正史、筒井昌
 富塚哲夫、仲俊次、中尾栄一、長尾勝美、中山和久、長島文夫、南湖修一、西村守正
 野中昭夫、野村茂樹、服部牧子、林基樹、馬場陽四郎、樋地正秀、深瀬聡、藤巻浩
 北条進、細渕昌、細山和男、益田昂、益田善任、松坂伊智雄、松澤徹、村山政利
 室井秀嗣、森田茂夫、守屋幸一郎、八木正晴、山口洋司、吉高太郎、吉本正典
 寄本勝美

以上72名

多摩稲門会からのお知らせ

創立125周年記念 waseda 125フェスティバル IN 多摩

場所 京王プラザホテル多摩（多摩センター駅前）白鳳の間

2008年1月26日（土）午後1時半開場

① 講演会 テニスプレーヤー 宮城淳氏 14時00分～16時00分

我がテニス人生

② 新年賀詞交換会（会費8千円） 16時30分～18時30分

連絡先 多摩稲門会 金子 042-374-1525



私にとっての高田馬場

小出 孝子（昭30文）

自分の4年間の「学生時代」が50数年も過ぎた今、週に一度、高田馬場に出かけています。共働きの長女が西早稲田に4人家族で生活している所へです。17年前、長男が生まれた時、週1回の「助っ人」を受け入れたのが今に及んでいるわけですが、高田馬場に降りると学生時代に返った気分になるのが不思議です。

また、不思議に思うのは、街路樹のプラタナスの幹が少しも（？）大きく育っていないことです。ドイツで大変大きい幹のプラタナスを見て、友人と手をつないで抱きましたが、二人ではとどきませんでした。きっと早稲田通りのプラタナスも大きくなっているだろうなと楽しみでしたが、早稲田通りの土が合わないのでしょうか。プラタナスは、またの名を「鈴かけ」というのに、今まで鈴（実）にあえなかったのは私が無知だったのでしょうか、きっと。初めて鈴のかかったプラタナスを見たのは北京です。大学の庭に大きい樹が並んでいて、見事な大きい実にびっくりしました。

学生時代の4年間の思い出の一つは、木村写真屋さんに随分お世話になったことです。写真マニアの10歳上の兄が、「スタート」という名の暗箱のような小さなカメラが出たばかりの時、私に「スタート」を買えというので、木村さんで買いました。まさに小さな暗箱で、冬と夏のレンズがあるだけで、シャッターは1/25と1/100とバルブだけだったと思います。玩具のような単純な小さいカメラでしたが、運よく太陽の光が輝いてさえいれば、よい写真になりました。兄が私の作品を見て、「おい孝子、レンズのいいのに当たったなあ」と自分のことのように喜んでいたので目に浮かびます。兄は80歳で亡くなり、「スタート」もありません。

その木村写真屋さんを、最近、ゆっくり歩きながら探していたら、見つかりました。木村さんはおられなかったけれど、私の話を親切に聞いてくださった若い女の方がおられて、ひよとしたらお子さんかも・・・と思いました。

17年前に生まれた孫は今年高校1年、3年後に次男が生まれ、中学1年、私は料理が得意ではないのですが食べ盛りなのでおいしいといわれると、ホッとします。

先日も、次男に「ばあばの作るおかず、すごくおいしい」と言われ、じわっと熱くなりました。

12月度「お誕生会」報告

HAPPY
BIRTHDAY

担当幹事：南湖 修一 390-2287、芦田 均 393-7525

12月8日（土）午後5時過ぎ、三宅会長から1年の締めくくりとしての12月の誕生者へのお祝いの言葉、そして當間（昭）副会長からお祝いの言葉を含む乾杯の音頭で、スタートした。今回は、12月誕生該当者中5名（藤沢様は結果的に欠席で、実質4名）及び久世様、鈴木（国）様、奈切様が特別参加、役員等で合計21名の大会帯だった。

江藤昌明様は親しくされている久世様、鈴木（国）様の出席を喜ぶと同時に「現在、82歳。本日の12月8日は開戦記念日で、特別な意味がある」とのことで、人間魚雷や広島・長崎の原爆投下の話に始まり、終戦を迎え、今日まで「どうにか生き延びた」と感慨深くお話戴いた。いまだにテニスのプレイ中でも、中止して「黙祷」を捧げるとのこと。石塚征雄様は筑波山の麓でお生まれになり、久米川に40年在住とのこと。當摩彰子様は、鎌倉浄明寺からのお帰りで和服姿の紅一点。戦争、核兵器保有の是非、早稲田大学で学べた喜び、日常性を回復させてくれる稲門会の存在など、風邪気味のかすれ声ながら一所懸命熱っぽく話してくれた。これからも「ボケずに、子孫のためにも、自分のためにもしっかりと生きてゆきたい」と。益田昂様は、当誕生会への招待に対する感謝の言葉に始まり、警視庁、法務省からの表彰、また、民事調停委員の10年の活動に対する表彰についてお話戴いた。「年金生活といった生き方ではなく、もっと一所懸命生きていきたい」と。

記念品贈呈、記念写真と続き、時が経つほどに酔うほどに懇談にも花が咲いた。出席予定の藤澤博恭様は、「時間切れ」で間に合わず、残念でした。従来どおりの閉会の辞（小亀輝雄氏予定）および校歌、東村山稲門会歌に至らずに終了時間となり、解散となった。

なお、当方の判断ミスにより、ご出席の方々にご迷惑をおかけしたことをお詫び申し上げます。

同好会だより

旅行同好会

世話人 風間和夫
小亀輝雄

TEL 394-5279
394-6951



本年度旅行会について
第5回旅行会を下記の通り行います。

期	日	平成20年5月15日(木)～16日(金)
宿	泊	新潟県寺泊岬温泉
		ホテル「飛鳥」Tel 0258-41-6111
費	用	2万5千円(預かり金・実費精算)
利	用	バス 東村山発着のDXサロンバス
立	ち	西福寺・弥彦神社・寺泊ショッピング等
寄	り	定員になり次第締め切らせて頂きます
先		問い合わせは風間(394-5279)まで

カラオケ同好会



世話人 芦田 均
内藤 慎

TEL 393-7525
393-5071

12月8日(土)午後7時過ぎにいつものとおり「カラオケ ズー」で10人もの参加を得て、快調にスタートした。今月は、コンペ形式(高得点順)で優勝、準優勝及び三位など、豪華景品?に加え、それ以外の人には参加賞ありで、各人3曲ずつ歌い、ライバル意識丸出し?で盛り上がりを見せた。

皆さん、老骨?に鞭打ってお疲れ様でした。初参加の奈切様の元気よさ、石塚様の堅実さ、紅一点の滝川(桜)様の品ある歌いっぷりも印象的でした。

・参加者名(敬称略)、三位までの順位及び曲名

内藤慎(優勝:越前忍冬) 高鷲近(準優勝:白い花の咲く頃) 石塚征雄(三位:北の旅人)
井垣和太 當間昭治 高部素行 滝川正義・桜子ご夫妻 奈切秀雄 芦田均

俳句同好会(稲酔会)

世話人 井垣和太 04-2924-2934



第35回「稲酔会」忘年句会を12月15日(土)午後1時から、ふるさと歴史館研修室にて開催しました。

今回から、小永井哲夫さん(美住町)が新加入。また、八木竜湖さんが兵庫県から遙々マイカーで東上され、4月以来の句会参加。一段とにぎやかな稲酔会となりました。他の参加者は、火吐四、稲雀、瑞雄、糸行、慎、北窓、で総勢8人。投句参加の和夫さんを加えて、45句の作品を、それぞれの目で選考鑑賞をして、合評する中でレベルアップを図りました。

互選での高点句は、同点で

柚子湯の香遠く父の背よみがえる 糸行
野仏は木漏れ陽を見る瞳もつ 哲夫

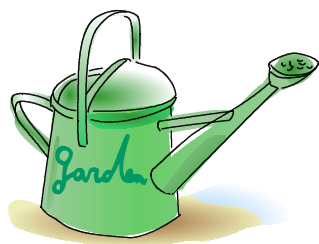
の二句でしたが、哲夫さんの句には季語がないという指摘に、選んだ5人が「あっそうだ、騙された」と、苦笑いの場面もありました。

句会のあとは、「丸藤」に場を移して忘年会を兼ねた放談会をおこない、連句の会から駆け付けた三宅会長(号良太 稲酔会会員)も加わり、3時間近く俳句を熱く語り合いました。

次回は2月23日(土)に開催予定です。詳細は131号でお知らせします。

(稲雀記)

園芸の会



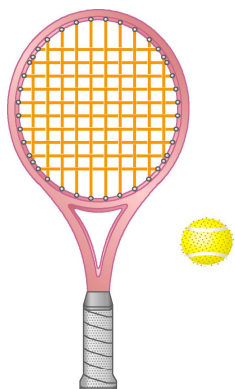
世話人 當摩照夫・彰子 TEL 396-3033

今回の園芸の会を下記のように行います。今回はさくら草の芽と、サギ草の球根の交換を行います。

新年の園芸活動のスタートです。皆様、ふるってご参加ください。

日時 平成20年1月26日(土) 午後3時～5時
場所 東村山市市民スポーツセンター、スポーツクラブ室

テニス同好会



世話人 當間昭治 TEL 391-6023

12月の例会は11日(火)久米川コートで実施。参加者は井手、奥山、市川夫妻、田島、小管、滝来、當間の8名。平日の開催でしたが好天にも恵まれ、4組のダブルスで楽しい2時間を過ごしました。プレー以外の休憩時間には、いろいろな情報交換ができ、それも収穫です。

寒さ本番ですが、1月と2月は下記の予定です。

記

日時 1月6日(日) 午前11時～午後1時
2月3日(日) 午前9時～午前11時
場所 両日とも久米川コート3

ウォーキングの会

世話人 高橋正夫 TEL 309-3407
土橋雄次 393-5708

第6回ウォーキングの会「小江戸・川越を歩く」を下記要領で行います。

- 1) 1月26日(土) 小雨の場合は翌27日。
- 2) 集合場所： 西武線東村山駅・本川越方面行きホーム中程。
- 3) 集合時間： 午前10時05分(10時14分発)
- 4) 行程： 本川越駅—中院—仙波東照宮・喜多院—川越城本丸御殿—川越市立博物館—氷川神社—菓子屋横丁—蔵造り資料館—時の鐘—蓮警寺—本川越駅
徒歩約6km 予定2時間半

参加費無料。但し、交通費、昼食代、施設入場料(3ヶ所計400円)は各自負担。寒い季節ですので、弁当よりも全員揃っての、温かい川越のうどんをお奨めします。

小雨のときは中止の予定ですが、いちおう当日朝9時までに、高橋または土橋にご確認ください。

第5回ウォーキング記 (07年11月24日)

寒かった昨日が嘘のような小春日和の中「緑と黄葉の新宿御苑と新宿山の手七福神めぐり」を西武新宿駅より10時半頃から始めた。先ず職安通り～区役所通り～靖国通り～まねき通り～抜弁天通り～神楽坂通りを経て東西線飯田橋へ 約8km。

七福神めぐりを始める。寺社の本堂、本殿にしっかり手を合わせる人、私のように先ず七福神がどこにあるか探す者と色々。祠に入っていて見えない福神、庫裡の奥に安置されている福神があり福神を見て手を合わせるのは難しい。後で調べて恥ずかしいこと、七福神は1月1～7日にご開帳、その時にお参りをして色紙に御朱印を頂くとご利益があるとか。この頃観光用になってしまったようだ。七福神めぐりは都内で約20、全国で220ぐらいあるそうだ。

新宿御苑の黄葉・紅葉はいまいちであつたが旧御涼亭からの日本庭園の眺めは絶景、記念写真を撮って芝生の上で昼食。暖かくてごろ寝。ずーと寝ていたかったが先があるので残念、ウォーキングも終わりに近づき神楽坂へ。昔の名残は少しも無く悲しむ。3時少し前に飯田橋に着く。

参加者：芦田、當間、松永、三宅夫人、高橋、土橋

(土橋記)

ゴルフ同好会

世話人 堀田秀夫 090-8339-7179

新年明けましておめでとうございます。今年もコンペに多数の方々参加をお待ちしております。



◎ 第7回早大総長杯ゴルフコンペの結果

11月6日(月)第7回総長杯には、我が稲門会から内藤、高部、相馬、芦田さんが参加されました。あいにく入賞者はおられませんでした。秋の終日他稲門会と親睦を図ることができました。(高部氏記)

◎ 忘年会ゴルフコンペ

月森様のお世話により、12月8日(金)西武園ゴルフ場で行いました。芦田さんが優勝され、今年度稲門会ゴルフコンペ有終の美を飾られました。来年にかけて活躍を期待しております。忘年会も盛り上がり、楽しい一日でありました。

◎ 来年度競技予定について

1. 第一回 4月18日(金) 狭山カントリー倶楽部
2. 第二回 9月上旬 日曜日 西武園ゴルフ場
3. 忘年会ゴルフコンペ 西武園ゴルフ場

新入会員、奥様、ご息の参加大いに歓迎であります。ふるってご参加ください。

早いようですが、1月12日新年会の席で4月12日の第一回コンペの予約をさせていただきます。

麻雀同好会

世話人 小野 智 TEL 391-9523
松永 常尚 332-5621

第41回大会を去る12月16日(日) マージャンMにて参加者16名、全員が集合時間に慣れてきたので定刻より早めに12時20分卓を開き、17時20分に卓を閉じました。優勝者は4回戦すべてを堅実に勝ち進んだ小亀氏、準優勝は前回優勝者の鈴木氏でした。以下賞金獲得者は土橋、小野、朝木、江藤、番場の各氏で、尚たまたま当日の己のつきのなさか、それとも実力のなさかの参加者の名前は、個人情報保護の故にて、公表を割愛致します。雀戦の後は、忘年会も兼ねて三宅氏、小野氏寄贈の清酒(澤ノ井五段仕込み)、デンキブラン(一升)を杯に、当日賞金獲得者の自慢話を肴に大いに宴が盛り上がりました。全員「都の西北」を合唱して楽しく賑やかな一日を送りました。

「追記」

過去第30回大会(16年12月)から今回第41回(19年12月)まで12回の優勝者は田口、朝木、鈴木、松永、小野、三宅、土橋、當間、久世、内藤、鈴木、小亀の各氏でした。

名を連ねてない方は、次回3月捲土重来、一大奮起して是非とも優勝の栄冠と美酒そして人生とどこかよく似た麻雀の楽しさを味わって頂きたいものと願って居ります。

尚又、次回からはスリーピングメンバーの方の参加をお待ちしています。

次回は20年3月9日(日)に予定しています。

(松永記)

囲碁同好会

世話人 福田 晃 TEL 394-0593
高 鷲 近 394-2336

● 12月例会報告と08/2/23冬大会のお知らせ○

○今年最後の12月例会は12月22日(土)、寒い日でしたが、いつもの別館第6会議室で以下の11名の諸氏が参加され 熱戦舌戦が繰り広げられました。

一色、江藤、久世、佐久間、鈴木、高鷲、田代、野村、福田、細淵、丸本

●新年度の「第16回冬大会」は、本年2月23日(土) 午後0時半から、別館第6会議室で開催されます。いつもより30分早めますのでよろしく。

また、大会なので賞品代として500円用意の上ご参加ください。

1枚の写真——昭和27年＜新制大学第2回卒業（仏文）＞

昭和26年3月14日記念撮影

飯村 和子（昭27文）

新年おめでとうございます。会員皆様のさらなるご発展とご健勝をお祈り申し上げます。

昨2007年には、早大創立125周年記念祝典が盛大に挙行されました。私は、昭和27年に早大文学部仏文専修を卒業してから、55年を数えました。遂に80歳を迎えました。

しかし、3年前に＜骨粗しょう症＞による背骨を圧迫骨折のため、＜要介1＞の身体不自由の毎日です。歩行は出来ませんが、集団行動は全面的に不可能な状態です。外出には付き添いが必須です。それだけに、この125周年の慶事に出会えたことの喜びは大きかったのです。

私自身もまたこの好機を記念し、新制大学発足第2回卒業記念写真（正確には前年26年3月14日）、卒論指導終了後、全員集合した一枚の記念写真を＜アーカイブス＞として「稲門会ニュース」に発表したいと思いました。幸い願いがかなって、新年号にとりあげていただくことが出来ました。かえりみれば、何十年間、この記念写真を肌身離さず保管した甲斐がありました。

＜写真説明＞ まずは皆様ご存知の小沢昭一さん！ 背広が多いなか、彼はただ一人、角帽をキチッと被り、腕組みをし、正面向いて＜決めている＞その人です（3列め・右から3人め）。この時既に彼は、俳優座の俳優でした。

2列めの右より6番めは佐藤輝夫教授（文学部長）、その右が小林龍夫教授（私の卒論ジョルジュ・サンド関係の原書を多数拝借）、その右は根津憲三教授（私の卒論指導の恩師）、佐藤部長の左は新庄嘉章教授（フランス文学の翻訳者として著名）で大変多忙でいらした。その左は川島順平教授（現代演劇がご専門）。前列左から3人め、頼杖をついて少し行儀の悪いのが恥ずかしながら私です。

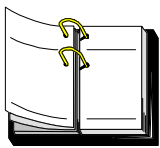
戦後のこの時期は、敗戦の痛手からまだ癒えず、世相も不安定でしたが、私たちは夢を膨らませながら学生時代を送りました。この時期、フランス映画の秀逸な作品が続々と封切られ、仏文科の私などは夢中で2回も3回も見たものです。ジャン・コクトー監督の「美女と野獣」「オルフェ」などは、忘れることの出来ない作品です。

同期生の中には、岩間芳樹氏（シナリオライター）、平岡篤樹氏（早大仏文科教授）、著名出版社の専務 e t c.

身近な例では、私が市民委員となって民俗芸能入門講座を立ち上げた際、大きな力を貸していただいたのは白川宣力（のぶお）氏（演博学芸員）などです。

＜私の職歴＞ ○40歳ごろフリーライターで出発（長男10歳ごろ）。最終は月刊編集記者（嘱託）。○市立萩山図書館嘱託を約7年間で定年。○60代～70代前半は、①早池峰神楽（岩手県）を筆頭に、民俗芸能探訪に集中。その間に機会を得て、エキスパートの先生方の引率のもと、ジャワ、バリ島などの民族芸能を、また南西インド（アラビア海沿岸）の数カ所で村芝居と影絵人形芝居を見聞。○68歳のときは、日本電波ニュース社の誘いで、アンコールワット見物。主塔に登り、カンボジャ王立舞踊学校で民族舞踊鑑賞。○四川省の成都市にて、京劇のルーツとされる川劇（センゲキ）を鑑賞した。





今月の行事 (1月)

6日(土) テニス同好会
 12日(土) 1月度役員会
 雑学講座
 新年会
 お誕生会
 26日(土) 園芸の会
 ウォーキングの会

2月の予定

3日(日) テニス同好会
 9日(土) 2月度役員会
 お誕生会
 23日(土) 囲碁同好会
 俳句同好会



編集局だより

編集局：中村

○ワセダスポーツが熱い！新春恒例の箱根駅伝。今年は往路優勝、総合2位でしたね。私はもっぱらTV派ですが、沿道で声援を送った方も多かったのではないのでしょうか。来年こそは総合優勝を果たしてほしいです。期待が持てそうですね。

○初詣に出かけると決まって引いてしまうおみくじ。今年は「大吉」でした。遊び半分でも運勢がよいと気分もよくなるのもです。神頼みはさておき、これからも楽しい紙面を心掛け会員の皆さまに喜ばれるニュースをお届けしたいと思っています。

○次号の原稿締め切りは1月25日(金)です。よろしくお願いいたします。

俳壇

井垣 稻雀

仲見世は江戸の色合い年暮るる
 大川の面きらめき冬ぬくし

菊田 一平

羽子板の団十郎が月睨む
 鬼柚子の鬼の歪つを愛しむ

風間 和夫

爺婆の出番ちかづく年の暮
 そそくさと話し切り上げ冬の暮

幸田 瑞雄

四世代法事に集う小春かな
 富士の絵に替へて早々春支度

小永井 哲夫

揺れ止まぬコスモスのみが暮れ残る
 裏木戸も清めて待てる冬満月

高部 糸行

柚子湯の香遠く父の背よみがえる
 年の暮庭木伐る音響きけり

内藤 慎

息白し公園隅の太極拳
 留守居して手持ち無沙汰の日向ぼこ

丸本 北窓

木枯や意を決したる歯の治療
 パソコンのデータ整理や夕時雨

八木 竜湖

賀状書くひとりひとりに会ふごとく
 積めるだけ積んでトラック年の暮

芦田 火吐四

年の瀬や鴨日溜まりに身繕ふ
 寒月の暗き梢に宿り居る



新年ひとこと特集(1)

- 朝声井 木田 吾朗 : 私と末娘とは同じ干支、娘の2倍の年齢となり、節目となるようにしたいが！
 井垣 和太 : 稲門会の活動は手抜き？ゴルフで100を切ります。
 一色 泰久 : 60才で誰の意見にも耳を傾けられるようになり、70才で自分を抑える努力をしながら、調和が保てるようになった孔子には遠く及ばずとも、あと2年で何とかその境地に近づきたいと思っております。
 井手 巖徹 : 皆様のご健勝を心よりお祈りします。昨年胃癌の手術をしました。幸運にも早期発見でしたが、早期発見はやはり定期健診に依るものと確信しました。是非、あらゆる機会をご利用され健康診断(定期的に)をお勧めします。(実感)
 上原 正行 : (メッセージではなくお詫びの言葉) 何の役にも立たなくて申し訳ございません。新宴会ご盛会を祈っております。幹事になりながら大変申し訳ございません。
 大森 幸恵 夫子 : 昨年写真コンテストに入賞し、乗馬で外乗したり、パラグライダーに挑戦したり、チャレンジの年でした。今年も新しいチャレンジをします！
 大森 平八郎 : 1/12は未だ出席は無理と思います。皆様によろしく。
 岡田 一郎 : 健康第一！ 体を鍛えて、ゴルフを楽しみ、充実の一日一日を！
 岡部 幹郎 : 皆様 本年もよろしくお願い申し上げます。書道の練習日と重なることが多く、今回も参加が出来ないことをお詫び申し上げます。
 岡部 康浩 : 母校創立100周年に続き125周年の記念式典に参列でき光栄です。次の150周年式典参加を目指して新たな足跡を残したいものです。
 小野 智 : 「継続は力なり！」
 風木 間和 夫 : ご出席の皆様のご新年のご健勝を祈念します。
 工藤 崇士 : 広島で2年目の正月を迎えました。家族含め元気に暮らしております。
 小久保 雄清 : 恕と云う理念を大事にして行きたいと思っております。本年も宜敷お願い申し上げます。
 小久保 義彦 : 各種同好会・催し物等にご参加下さい。新しい自分を発見出来るかも知れませんよ？
 小久保 充守 : 今年が良い年でありますように。ポストマンの方々ご苦労さまです。
 関馬 一誠 : 当日はラグビー大学選手権の決勝で早稲田を応援に行く予定になっております。
 高杉 修 : 幹事の皆様にはいつも感謝しております。
 高橋 正夫 : 今年も楽しい稲門会にしていきたいと思います。
 高柳 素行 : ボランティア活動を積極的に行ってゆきたいと思っております。
 高柳 忠正 : インドツアーで人生観を変えてきたい。
 高瀬 近子 : 現在7店舗9カ所です。今年中には何としても8店舗目を持つつもりです。
 高瀬 桜子 : 昨年を表す字は「偽」が選ばれた。世の中偽善がいっぱいである。が、私は今年を自己大切に「偽」といいたくないものだ。
 高瀬 代光 : 「飲み過ぎに注意して」良い年になりますように...
 月森 通夫 : 昨年、年男のご利益か、稲門会仲間とプレーして、ホール・イン・ワンをやりました。今年はホール・イン、3、4、5 (パー) の数を少しでも多くと欲をかいています。
 筒井 昌 : 体調不良により8月をもって退会しております。また、元に戻りましたらお世話話になりたいと存じます。
 高橋 正夫 : ラグビー、野球に代表されるワセダスポーツ、まさに全盛。最高のしあわせです。
 高柳 素行 : 今年も秩父宮・神宮と精勤します。
 高柳 忠正 : 還暦を過ぎ一順目の年男の年。ともかく健康第一で行こう。
 高瀬 近子 : 母校の益々の発展とワセダスポーツの大活躍・我が稲門会の弥栄を心から祈念致します。
 高瀬 桜子 : これからは、より自然体で生きていきたい。
 高瀬 代光 : あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願い致します。
 月森 通夫 : 格別の目標もないので、現在を大切に生きていきたいと思っております。
 筒井 昌 : 「偽」から「健」の年に。皆様おすこやかに。
 筒井 昌 : 一年が過ぎるのが早いですね！新年を迎え会員の皆さま方のご健勝をご祈念申し上げます。
 筒井 昌 : ご盛会をお祈り申しあげます。

新年ひとこと特集(2)

- 津野慶浩：2007年の世相を表す漢字が「偽」それに続いて「食」「嘘」「疑」とのこと
で何とも情けない日本になってしまいました。今年こそ明るい日本を取り戻し
たいですね。
- 當摩彰子：「ひ」たすら「と」とも語らん「こ」のまちの「と」うもん会で
今年稲門会同好会への参加をもうひとつ増やそう。
- 當摩昭治：行政相談委員として、地域の声を中央に届けるべく研鑽を積みたい。そして何
よりも家族の健康。
- 戸田志郎：ムダな抵抗とは思いますが、体力・気力・知力の維持・回復に努めたい。
- 内藤慎次：一年一年日々新たに、明るい生きざまを目指して頑張りたい。
- 井俊次：新年の御祝詞を申し上げます。今年も楽しく陽気に...。
- 長尾勝美：・今年も一年、元気に過ごしたいもの。・早大サッカー部が関東リーグで優勝
して欲しい。
- 長尾長正：会員の皆様のご健勝をお祈り申し上げます。
- 奈切秀雄：歳を重ねる度に一年が短くなって何か損をした様な心地がします。今年も元氣
で頑張るつもり。何分宜しく。
- 鍋島高明：酒の飲める量が毎年少なくなってきました。酒は私の場合健康のバロメーター
になっています。皆様も健康には呉々も気をつけられて、今年も元氣で楽しく
過ごされますようお祈り申し上げます。
- 成田延雄：今年年男です。本3冊出版、ゴルフ40ラウンド、海外旅行1回、古本収集
無数...。こんな目標を立てています。
- 南湖修一：東村山に移り住んで50年。住む環境は大きく変わりましたが、東村山稲門会
の皆様には変わらぬご厚誼の程お願い申し上げます。
- 南野村樹次：人間的に向上して、60才を向かえるための1年にしよう。
- 比留間光信：あと半年現役です。それまで勤勉です。
- 福田晃：今年の政治・経済、二つの行方に関心事。
- 藤澤博恭：①米国発サブ・プライム問題の行方。②衆議院選挙の行方。
- 細淵昌：謹んで新春のお慶びをお祈り申し上げます。皆様のご健康とご多幸をお祈り致します。
- 松澤徹：本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。
- 松澤宏：新年おめでとうございます。東村山稲門会の益々の御発展を心よりお祈り申し
上げます。平成二十年元旦
- 宮三宅雄太：何時の間にか喜寿を迎えていました。残りの日々を如何に過すか。人間らし
く智の虚飾を捨てて、悠々と大自然と融和して生きたいと願っています。
- 森澤要：新年会の通知有難うございます。小生10月末に軽い脳梗塞に犯され、半月程
入院し、現在は通院治療中なので、残念乍ら欠席させていただきます。
- 森田茂夫：会員の皆様の弥栄をお祈り致します。
- 八木正晴：行事に参加したり、同好会に入ったりしていませんが、稲門会ニュースを読ん
で思わぬ知識を得ることも多く、楽しんでいます。ポストマンの仕事は楽しく
続けています。今年もよろしくお祈りします。
- 山崎光夫：新年おめでとうございます。会発展のため、日頃の尽力に感謝致します。一年
の経過が年々早く感じる令いですが、今年も健康第一で過ごそうと
思っております。
- 山渡利則：2月2日で84才。とし男、いい年であるように祈らせていただきます。
- 森田茂夫：新年明けましておめでとうございます。会員・御家族の皆様のご多幸を祈念し、
今年もどうぞよろしくご支援・ご協力頂きますようお願い申し上げます。
- 八木正晴：早大創立125周年、そして大隈重信の「人生125歳説」ということで、そ
れに一步でも近づければと思っております。
- 山崎光夫：難聴がひどくなり、コミュニケーションが取りにくく残念なことです。しかし
目が不自由な方のことを思えばまだまだ幸せです。これから『あるがままの
姿』で生きていくつもりでおります。元気にゴルフができることを神に感謝し
つつ、これからゴルフの会合には参加するつもりです。
- 山崎光夫：役員の方には大変ご苦勞をおかけしておりますこと恐縮に存じます。私事、
諸行事には欠席ばかりで申訳なく思っておりますが、1/12当日も他の用事
と重なりますので欠席させていただきます。ご了承下さい。
- 山崎光夫：大隈さんが生まれて170年目の年です。
- 山渡利則：新年おめでとうございます。会員の皆様のますますのご発展をお祈りします。

(新年会出欠返信はがきのひとことメッセージをほぼ原文のまま採録したものです。)